

青年海外協力隊とは

開発途上国からのニーズに基づき、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考、訓練を経て派遣する。

青年海外協力隊は事業発足から50年以上という長い歴史を持ち、これまでにのべ4万人を超える方々が参加している。現在（2018年1月31日現在）70か国で1,966人のJICAボランティアが派遣中である。

JICAボランティアには応募時の年齢と活動する地域・コミュニティにより、4種類のボランティア事業を実施している。

| | | |
|----------------|--------|---------------------|
| 青年海外協力隊 | 20～39歳 | アジア・アフリカ・中南米・太平洋州など |
| シニア海外ボランティア | 40～69歳 | |
| 日系社会青年ボランティア | 20～39歳 | 中南米の日系人社会 |
| 日系社会シニア・ボランティア | 40～69歳 | |

募集期間は年2回（春・秋）2018年春募集は4/2～5/1。熊本では6/16（土）開催予定。

活動分野は農林水産、保健衛生、教育文化、スポーツ、計画・行政など自分の持っている知識、技術、経験などを活かして2年間派遣。

1ヶ月から参加できる短期ボランティア制度もある。

また、近年「グローバル協力隊」という制度を設けた。

これは、日本国内で地域おこしの実習機会を提供、あるいは開発途上国での活動経験をもとに地域で活躍する機会を提供し、海外（グローバル）と国内（ローカル）の経験を併せ持つ「グローバル協力隊」として活躍いただくことを考えている。

